



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S
The Y's Men's Club of Kanazawa
 CHARTERED JULY 9, 1947
 c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est Facere—To dare is to do”
アジア地域会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est Facere—To dare is to do”
西日本区理事主題	「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」	”Contribute to the Community through Active Services with Love”
中部部長主題	「先ず一歩 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」	
金沢クラブ会長主題	「One for All, All for One with Y's Spirits」	

2011 11月間強調 Public Relations Wellness

今月の聖句	11月強調月間												
<p>神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。</p> <p style="text-align: right;">ヨハネによる福音書3章16節</p>	<p>ワイズデーはワイズ広報デー、ワイズデーでの催しや事業を積極的に外部に広報しましょう。できればワイズ以外の方も参加できるイベントを企画しましょう。</p> <p style="text-align: right;">辻野啓一広報事業主任 (奈良クラブ)</p>												
<p style="text-align: center;">11月例会プログラム</p> <p>とき 2011年11月17日 (Thu.) 18:30~20:30</p> <p>ところ 金沢ニューグランドホテル</p> <p>会費 ¥3,000(会員不要) ¥2,000(メネット)</p> <p>司会 山内健司君</p> <p>開会・点鐘 幸正一誠会長</p> <p>主 題 司 会 者</p> <p>ワイズ・ソング 一 同</p> <p>今月の聖句 司 会 者</p> <p>ハッピー・ハーステイ 幸正一誠会長</p> <p>ゲスト紹介 数澤輝夫君</p> <p>食前の感謝 影山雅一君</p> <p style="text-align: center;">~~~~~ 会 食 ~~~~~</p> <p>スピーチ 「活き活き元気」</p> <p style="text-align: right;">医療法人和幸会 鈴木レイズホスピタル会長 鈴木雅夫氏</p> <p>委員会報告 各 委 員</p> <p>ニコニコタイム 伊藤仁信君</p> <p>YMCAの歌 一 同</p> <p>閉会・点鐘 幸正一誠会長</p>	<p style="text-align: center;">10月 クラブ活動状況</p> <p>第1例会 (10月20日 Thu.)</p> <p>メ ン：伊藤、影山、数澤、高口、幸正、澁谷、西尾、山本 (8名)</p> <p>メイクアップ：なし (0名)</p> <p>出席率：80%</p> <p>メネット：伊藤、数澤、高口、山内、山本 (5名)</p> <p>ゲスト：清水忠 (1名)</p> <p>第2例会 (10月1日 Sat.)</p> <p>メ ン：伊藤、数澤、幸正、澁谷 (4名)</p> <p>メネット：数澤、山内 (2名)</p> <p>ニコニコタイム 16,000円</p> <p>クラブファン ド 累計 54,500円</p> <p>BFポイント</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>切手</td> <td>0 kg</td> <td>累計</td> <td>0 kg</td> </tr> <tr> <td>現金</td> <td>0 円</td> <td>累計</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	切手	0 kg	累計	0 kg	現金	0 円	累計	0 円				
切手	0 kg	累計	0 kg										
現金	0 円	累計	0 円										
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>会 長</td> <td>幸正一誠</td> <td>書 記</td> <td>山内健司</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>澁谷洋太郎</td> <td>会 計</td> <td>高口昇</td> </tr> <tr> <td>直前会長</td> <td>数澤輝夫</td> <td>メネット会長</td> <td>数澤淑子</td> </tr> </table>	会 長	幸正一誠	書 記	山内健司	副会長	澁谷洋太郎	会 計	高口昇	直前会長	数澤輝夫	メネット会長	数澤淑子	<p>第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30</p> <p style="text-align: right;">金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311</p> <p>第二例会：毎月1日 18:30~20:00</p> <p style="text-align: right;">金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)</p>
会 長	幸正一誠	書 記	山内健司										
副会長	澁谷洋太郎	会 計	高口昇										
直前会長	数澤輝夫	メネット会長	数澤淑子										

「旬のとき・・・」

高口 昇

私の職場では毎朝、支店ビルで働く 20 名程度がラジオ体操で一体感を持ち、朝礼で情報を共有し、その後ミーティングルームで沸かし立てのコーヒーを飲みながら、10 分程度だが雑談を交わしてから仕事にかかるのが日課となっています。なんと呑気な会社だと思われるかも知れませんが、実は管理者にとっては、この時間は職場の仲間の健康状態等が把握でき、コミュニケーションが図れる貴重な時間ともなっているのです(笑)・・・。そんな 10 月芸術の秋、ある朝の雑談話が今日のお話です。

私がクラシックファンの同僚に「昨夜の音楽堂のコンサートどうやったあ」と聞きました。すると「さすが〇〇〇、素晴らしかったぞ」と返事が返ってくると思いきや、意外にも「いやー お客さんが 6 割程度のガラガラでびっくりしたわ」との返事でした。実はこのコンサートはショパン国際コンクールで優勝した世界的なピアニスト男性と女性 2 名の競演でした。同僚は演奏の良し悪しよりも、観客の少ない会場の雰囲気驚いてこんな会話となった様子でした。実は全く同じ経験を私たち夫婦も二度経験していました。一度目は今回と同じ超有名な外国人男性ピアニストのソロコンサートの時、二度目はこれまた「夜空のトランペット」等の演奏で世界的にも有名なトランペット奏者のソロコンサートでした。ふたりのアーティスト共、その時々「旬の時でもあり、大ブームの時でもありました。当然の事ながらチケットをやっとの思いで入手し、期待通りの演奏会で余韻を残しながら満足して家路に着きました。それから数年後に時期は違いますが、再び金沢での二人のコンサートがあり、前回同様に楽しみに演奏会場へ足を運びました・・・が、開演時間を間違えたのではと思うくらいに観客席が埋まりません。そうこうしている内に開演のブザー。演奏が始まりましたが何となく落ち着かず、集中も出来ませんでした。多分、会場が満席の雰囲気の中で観客が感動を共有することがコンサートに限らず満足する一つの要因かも知れません。何故か高いチケット料を払っているにも関わらず「演奏者に申し訳ない」と云う思いもあり、落ち着かないままに演奏会は終わってしまいました。これと同じ事を同僚も感じたらしい。それにしても悲しいことに食べ物に限らず「旬のとき」や「ブーム」には誰もが触手を伸ばすが、時の流れで人の気持ちも変わるのだと、改めて思い起こした朝の一風景がありました。

【10 月例会報告】

10 月は金沢くらしの博物館館長 清水忠氏より「無からの旅立ち～物心一如～」と題してスピーチをいただきました。

[1]三つのエピソード

1. 星稜高校の甲子園ドラマ

星稜高校が甲子園でベスト 4 まで勝ち進んだ時のこと。第 1 回戦は、日体荏原高校との対戦。0 対 0 の投手戦のまま 7 回になり、荏原の先頭バッターのショートゴロを、星稜のショート種本君の一塁への悪送球で、ランナーは二塁へ。この時、一塁のカバーをした捕手の沖野君はフェンスにぶつかりながらも、二塁へ送球してランナーを刺した。星稜ナインは沖野君の努力に感動し、やる気を起こし、ベスト 4 まで進む原動力になった。

2. 薬師寺の三重塔

奈良・薬師寺の国宝・三重塔は、昭和 36 年 9 月の第二室戸台風で、瞬間最大風速 60m の強風にも、毅然として無傷で残った。この三重塔は、人の目に見えない天井裏に、沢山の無駄と思える材料を使ってあった。目に見えない“無の空間”に努力を注いだ古代の人たちの無償の心、遠回りの論理に、住職の高田好胤さんは深い感動と、尊い教訓を汲み取られた。

3. ハイエクと西田幾多郎

昭和 53 年、イギリスの経済学者フリードリヒ ハイエク博士、日本の生物学者今西錦司博士が、京都で 3 週間にわたって討論をしたことがある。西洋近代の文明を代表する、新自由主義経済学の最高峰、ハイエクに問題提起し、鋭い批判と反省を与えたのが東洋の思想であった。

[2]無の思想

1. 無為(無償)

漢の淮南子の書に“一目の網は鳥を待たず、鳥捕る網はただ一目”とある。小鳥を捕るために、カスミ網を張ると、小鳥は網に引っ掛かる。掛かった所は網の目の一つに過ぎない。その一目に鳥が掛かるために、無数の目を持った大きな網が必要。無駄に思える残りの多くの網目があってこそ鳥が掛かる。無用の用を果たすことになる。お互いに生かされて生きる、共生関係を淮南子が述べている。

2. 無欲(知足安分)

終戦直後の貧しい時代と、現在の豊かな時代を比較して、どちらが幸せかを考えさせられる。イギリスのマルサスは人間の満足度は所得を欲望で割った指数であるという。所得は増えたものの、人間としての満足

感はない。豊かさの中の貧しさというのが実感。

3. 無知(無差別)

花園大学の学長であった山田無文は人間の世界に対立や区別があってはならないという。対立的なとらえ方が人間関係をこわす諸悪の根源といえる。

川端康成のノーベル賞授賞式でのスピーチは、「この美しい日本と私」とは言わず、「この美しい日本の私」という題名であった。「と」でつなぐ対立の関係ではなく、「の」でつなぐ無差別の考え方を持つことによって、本来の人間関係を取り戻すことができるのではないかという。

[その今日的意義]

西田幾多郎の書かれた“物心一如”の色紙がいま、金沢くらしの博物館館長室に置いてあり、私の座右の銘としている。10月18日に本多町に、鈴木大拙館が新築落成した。鈴木大拙と西田幾多郎とは大変親しい友人で、共に思想の研究、普及のために生涯を捧げられた。この無からの旅立ち物心一如の思想は、洋の東西、歴史の古今、信仰の如何を超越した、人類社会の不滅の摂理であると思う。(文責 影山 雅一)

第16回びわこ部部会に参加して

10月16日(日)草津市のホテルで標記の部会に、一路草津を目指し金沢発7時03分のサンダーバードに乗車、京都経由で無事金沢クラブの3人が草津駅に到着しました。当日は晴れ男3人の面目躍如、天気晴朗風静か大変穏やかに出迎えてくれました。その後が例により金沢クラブ膝栗毛道中になりました。時間を大切にAメンの入力勘違いで早く着いたこと。天気も良い草津市内を歩くのも初めてなので琵琶湖まで散歩しようとBメンから提案があり、異議なしの決定で3人で歩き始めましたがなかなか湖面が見えない。途中《純》近江牛の看板が見えたので食通のBメンは、琵琶湖は取り止めここで昼食をしようと言って店の前に行ったら残念ながら本日休業の札が下がっていました。再度琵琶湖を目指すことになりましたが腰痛持ちのCメンは早くも歩行困難。町人にお聞きしたら1時間以上は掛かると聞いてまた吃驚。即計画中止Uターンしたら空車のタクシーが来たので直ぐ乗車、琵琶湖が眺められる所までと運転手に聞いたら琵琶湖博物館が良いとの返事。到着し2階に行こうとしたら入場料が高いので中止。すぐ前に草津駅行のバスが停車していたので乗車し駅前で昼食《普通のランチ》。少し遅れて会場に着きましたが何をしに琵琶湖まで行ったのかまるで判りませんでした。結局、草津市の一部を彷徨

っただけでした。部会が始まる前に相当疲れたことだけは確かでした。

前置きが長くなりましたが、肝心の部会等については思いつくまま概略述べます。11時メネット会、12時からびわこ部会がクサツエストピアホテルで開催され、ホストクラブは草津クラブでした。第1部は基調講演を滋賀県立大学名誉教授理学・農学博士小林圭介先生で琵琶湖をはじめ南北両極の自然環境などの大切さを話されました。第2部の部会は草津クラブの滝本英子メン司会で一井部長の開会宣言で始まり予定通り進みましたが、来賓祝辞で草津市長自身がワイズメンなので更なる発展を祈るとの挨拶があり記憶に残りました。第3部は、お待ちかねの懇親会が大津クラブの小田聡子メンの司会と、びわこ部が誇る「アイドルナショナルキッド」の方々の演奏で賑々しく開始されました。次期びわこ部長井之上温代メン(滋賀蒲生野クラブ)の乾杯で突入し、最初は匍匐前進でしたが最後は演台に立って声を張り上げ行事や催事等をPRし大いに盛り上がりました。何処の懇親会もご同様にこれがワイズのエネルギーなのかと自分も盛り上がっていました。最後に主催されたびわこ部・ホストの草津クラブの皆さん大変お疲れ様でした。参加者約140人、金沢クラブから澁谷・幸正・伊藤の3人が参加しました。

帰りの車中は早朝から予定外の琵琶湖観賞等々で、3人とも大変疲れたのか金沢まで恵比寿ビールを飲みつつ《純》近江牛を夢見ての爆睡でした。

伊藤仁信 記

鈴木 雅夫氏 プロフィール

1927年 福岡県久留米市生まれ

石川県立金沢第二中学校・海軍兵学校・第四高等学校修了

1951年 金沢大学医学部卒

1952年 国立金沢病院産婦人科入局。

1958年 産婦人科医院開業

医療法人社団 和幸会会長、元県病院協会会長、県産婦人科医会副会長など歴任

Happy Birthday

山本 達也君 11月17日

伊藤 悦子さん 11月15日

~~~~~お知らせ~~~~~

☆YMCA サービス・ユース献金

1人 1,500円(11月例会時に集めます。)

~~~~~ YMCAのお知らせ ~~~~~

☆早天祈祷会

日 時 2011年12月1日(木) 6:00~7:00

場 所 金沢YMCA集会室

☆ ながまちふれあいフェスティバル 2011

日 時 : 11月13日(日) 10:00~15:00

場 所 : 中央公民館長町館・長町緑地・老舗記念館

内 容 : ステージ発表・模擬店・作品展示・紙芝居・  
団体活動紹介

当日は金沢YMCA及び金沢・金沢犀川ワイズメン  
ズクラブの活動状況の紹介並びに国際協力募金の  
パネル展示を行いますのでご協力ください。

12月の担当

ブリテン執筆 : 澁谷 洋太郎 君

山本 典子 さん

卓 話 担 当 : 澁谷 洋太郎 君

原稿は12月25日までに山内までお願いします。

☆「金沢YMCA 児童クラブ」報告

指導員 加藤 朝子

児童クラブは2年目となり、子どもたちもメンバー  
が入れ替わるなど少し、お部屋の雰囲気も変わったよ  
うに感じます。今は、4年生が一番多く、4年生ともな  
ると、遊びもダイナミックで、木のぼり、坂すべりな  
ど戸外にでると、わんぱくそのものです。坂すべり  
では、ダンボールの上に立ち、スノーボードのように楽  
しむ姿も見られ、その運動力に驚かされることもしば  
しば(笑)。お母さんたちの中には、子どもとの時間を  
作れる時は、その時間を大切にしたいと考えておられ  
るご家庭も多く、最近では人数が少ないこともありま  
すが、それでも「児童クラブがあつてよかった」、「こ  
こに来てすごく成長したように思います」、「本当に助  
かっています」などたくさんの温かい言葉を戴き、うれ  
しいです。まだまだ全体としても利用されている人  
数は少ないですが、これからも「楽しい!」と言っ  
てくれる子どもたちとお仕事をされているご家庭の力に  
なることを目指して、日々よりよい環境作りにはげみ、  
工夫しながら努めていきたいと思っています。

~~~~~ × ネット 報 ~~~~~

10月の安曇野をたずねて

10月16日(日)、私の町内会の親睦旅行、我が町の年
中行事の一つです。今年は安曇野の「ちひろ美術館を見
学するのが目的でそれ以外は、お天気と交通事情を考慮
しながらの日帰り旅です。

町会を朝7時に出発、大型バスに30名とゆったりし
たものです。森本インターから糸魚川インターまで、途
中一か所トイレ休憩です。前日まで雨が降っていたの
と、新潟方面の大雨が降ったりだったのですが、当日は
雲も徐々に薄くなり、親不知のあたりでは、よい天気に
なり海の色も見渡す限り真っ青でした。

糸魚川インターを降りて川に沿って148号線を進み
ました。何年か前に、数澤さんの運転で菊池さんと三人
でメネット会の旅で白馬へ行った時、道路は曲がりくね
って工事のところが多かったのですが、今はトンネル
ができてすっきり、バスの中から見る景色が徐々に色が
付き、上の方から段々と、でも紅葉にはまだ早い、赤、
緑、黄、こげ茶などの混じり合った山々の姿が私にはす
ごくきれいに見えました。青木湖や木崎湖を過ぎたあた
りから、急に空気が変わると同行した人に言われました
が、何かそれが実感できた気がしました。

朝出るとき、金沢でマラソンがあつたのですが、松川
村、大町周辺でも行われていて、迂回しなければならず、
バックするやら大回りするやらで、予定が大きく遅れ

ました。

ちひろ美術館に着いた時、多くの車や人で満ち溢
れて賑わっていました。中に入ると、広々とした建
物の中に気持ちがホッとする空間を作ってくれてい
ます。展示されている絵が、子どもの何気ない風情
をやさしいタッチでとらえてあり、どの部屋でも座
ってゆっくり鑑賞できる、気持ちを豊かにしてくれ
るようでした。また、外に出て周りを見ると、のど
かな風景があり、館の横に小さな小川のせせらぎ聞
こえる演出がいいなあーって、しばらくボーっと眺
めていました。予定より遅れて2時ごろ昼食、いわ
な専門の懐石料理とか、大町方面まで、おなかぺこ
ぺこだったのでおいしかったです。何を食べてもお
いしいはずですよネー。

その後、白馬のジャンプ台の下にあるオリンピッ
ク記念館を見学、道の駅小谷^{おたり}でお土産を買う人、お
風呂に入る人もおられました。5時近くになり、周
りも暗く、夕焼けも見えませんでした。

家に着いたのは8時近く、予定より1時間余り遅れ
ましたが、町内会親睦の確かな1日でした。天候に
恵まれ、自然に感謝して皆様とサヨナラしました。

(山谷明代 記)